

# 一般財団法人 語学教育研究所主催 2019 年度講習会のご案内

## 連休企画 特別講座① 4月30日(火祝) 13:00~16:00 (大東文化会館)

『主体的な学び』を促す授業を目指して」講師：矢田 理世(筑波大学附属高等学校)  
 高校2年生の授業を材料に、発問や指導技術等について、参加者と意見交換をします。(※別紙詳細)

詳細および  
お申込みは  
語研ホーム  
ページから

## 特別講座② 5月4日(土祝) 14:00~17:00 故若林俊輔先生「これからの英語教師」

2001年8月、語研講習会最後となった若林先生の講義ビデオを拝聴します。(定員30名)

## 不変の定番 基礎講座：英語の授業の「型」づくり

時代が変わっても基本的な授業の「型」に変わりはありません。オーラル・イントロダクションを核とした授業の基礎的な指導技術を4回シリーズで学びます。同じ内容を前期・夏期集中・後期・春期集中の4度にかけて実施しますので、ご都合のよい時にご参加ください。(講師により若干テストは異なります。)

### 基礎講座(前期) 各回とも 13:00~16:00

6月23日(日)	1. 授業づくりの基礎・基本	小菅 和也
7月14日(日)	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	小菅 敦子
9月8日(日)	3. 導入(題材内容中心)	江原 一浩
10月20日(日)	4. 音読から話す活動へ	四方 雅之

### 基礎講座(夏期集中) 上段が 9:30~12:30、下段が 13:30~16:30

8月5日(月)	1. 授業づくりの基礎・基本	望月 正道
	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	久保野 りえ
8月6日(火)	3. 導入(題材内容中心)	八宮 孝夫
	4. 音読から話す活動へ	吉田 章人

### 基礎講座(後期) 各回とも 13:00~16:00

11月2日(土)	1. 授業づくりの基礎・基本	浅野 伸子
12月22日(日)	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	大内 由香里
1月26日(日)	3. 導入(題材内容中心)	山崎 勝
2月16日(日)	4. 音読から話す活動へ	千田 享

### 基礎講座(春期集中) 上段が 9:30~12:30、下段が 13:30~16:30

3月26日(木)	1. 授業づくりの基礎・基本	浅野 伸子
	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	小菅 敦子
3月27日(金)	3. 導入(題材内容中心)	山崎 勝
	4. 音読から話す活動へ	吉田 章人

## 新編増補 ア・ラ・カルト講座 小学校も含めた豪華講師陣による1回完結のセミナー・ワークショップです。

6月8日(土)	① 中高の先生に知ってほしい小学校英語の世界	粕谷 恭子
8月3日(土)	② 小学校英語：何を体験させる？	入江 潤
	③ 小学校英語：どのように体験させる？	永井 淳子
8月10日(土)	④ 授業の中でのフォニックス活用術	手島 良
	⑤ プレゼンソフトで合理的配慮の視点を取り入れた授業を作ろう	草間 浩一
8月20日(火)	⑥ 単語の意味の伝え方	砂谷 恒夫
9月7日(土)	⑦ テストを変えたい先生方への最初の処方箋	根岸 雅史
9月15日(日)	⑧ 教科書を使った生徒のやる気を引き出す指導法	曾根 典夫
9月22日(日)	⑨ 発音指導の心技体	静 哲人
12月1日(日)	⑩ 「これならできる！」ライティング指導とその評価	馬場 千秋
2月9日(日)	⑪ 指導手順を見直す	田島 久士
3月8日(日)	⑫ パフォーマンス課題と評価 ~その実践と留意点~	中山 健一

## 基礎講座：英語の授業の「型」づくり

## ア・ラ・カルト講座

場 所：(一財) 語学教育研究所

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 6-36-13 サザンパレス西日暮里 102 号室

TEL 03-5901-9214 FAX 03-5901-9215

時 間：13:00～16:00

ただし基礎講座(夏期集中・春期集中)およびア・ラ・カルト講座②③④⑤は

午前 9:30～12:30 午後 13:30～16:30

定 員：毎回 20 名

参加費：会員 3,000 円(1日 5,000 円) ※1日とは午前午後両方参加の場合です。

(※学生で会員の場合は 半日・1日ともに 1,000 円)

一般 5,000 円(1日 10,000 円) 学生 2,000 円(1日 3,000 円)

申込方法：語研ホームページの「語研基礎講座」からお願いいたします。 <http://www.irlt.or.jp/>

## 基礎講座：英語の授業の「型」づくり

## 内容詳細

### 第1回 「授業づくりの基礎・基本」

講師：小菅 和也(武蔵野大学) 6月23日(日)

望月 正道(麗澤大学) 8月5日(月) 午前

浅野 伸子(東京都立小山台高等学校) 11月2日(土)・3月26日(木) 午前

英語の授業を英語で進める際に、どのような原則があるのでしょうか。また、英語の授業を効果的に組み立てていくためには、どのような点に注意しなければならないのでしょうか。このような、授業づくりの基礎・基本について考えます。4回にわたるシリーズの「導入・概論」にあたる講座です。

### 第2回 「導入(文法事項中心)から言語活動まで」

講師：小菅 敦子(東京女子大学等非常勤講師・元東京学芸大学附属世田谷中学校教諭) 7月14日(日)

久保野りえ(筑波大学附属中学校) 8月5日(月) 午後 3月26日(木) 午後

大内由香里(東京都荒川区立第九中学校) 12月22日(日)

文法を教えるとは、単に明示的にルールを説明することだけではありません。日々の授業でどのように扱えばいいのでしょうか。中学校での実演をもとに、1つの新出文法事項を学習者が実際のコミュニケーションの中で使えるようにするための方法と考え方を提示します。高校の「英語表現」のヒントにもなると思います。いよいよ、中学校でも「英語で授業」を行うべきことが次の学習指導要領に明記されました。みなさんと一緒に、文法指導について再考していきたいと思っています。

### 第3回 「導入(題材内容中心)」

講師：八宮 孝夫(筑波大学附属駒場中高等学校) 8月6日(火) 午前

江原 一浩(筑波学院大学) 9月8日(日)

山崎 勝(埼玉県立和光国際高等学校) 1月26日(日)・3月27日(金) 午後

新しい題材についての背景知識を与えながら生徒たちに興味を持たせ、関連する語彙を使用場面を設定して与えることが導入の大きな目的です。そして導入の先には、読解活動や発表活動など、単元のゴールがあります。到着点を見据えながら、どのように導入を組み立てたら良いか、また、発展させたら良いのか。実際の教材や授業の様子をご紹介します。それぞれの授業にあった導入を参加者と一緒に考えていきます。

### 第4回 「音読から話す活動へ」

講師：吉田 章人(日本女子大学附属高等学校) 8月6日(火) 午後・3月27日(金) 午後

四方 雅之(成蹊中学高等学校) 10月20日(日)

千田 享(埼玉県立浦和西高等学校) 2月16日(日)

本文の導入と説明のあと、どのように変化を持たせて繰り返し音読をさせるか、どのような点について指導を加えるか、さらに、音読の成果を土台として、いかにして発表活動につなげていけばいいかについて考えます。

## ア・ラ・カルト講座 内容詳細

### ① 「中高の先生に知ってほしい小学校英語の世界」 6月8日(土)

講師：粕谷 恭子(東京学芸大学)

中学校・高等学校の先生方、小学校での英語教育を「他人事」とっておられないか？小学校で何が起きているか、10年間に及ぶ英語教育の中での役割は何か、共有させていただきます。ごつくばらんにご質問もお受けします。奮ってご参加ください。

### ② 「小学校英語：何を経験させる？」 8月3日(土) 午前

講師：入江 潤(明星学園小学校)・永井 淳子(東京都市大学附属小学校)

2020年に本格実施される次期小学校学習指導要領では、中学年で外国語活動が開始され、高学年では教科として英語を学ぶこととなります。小学校の4年間でどのような経験を積ませ、中学校に送り出せばよいのでしょうか。中学校以降の英語学習・習得の下支えとなり得る教育内容について、活動や授業の様子などをご紹介します。考えていきたいと思えます。

### ③ 「小学校英語：どのように経験させる？」 8月3日(土) 午後

講師：入江 潤(明星学園小学校)・永井 淳子(東京都市大学附属小学校)

子ども達が興味を持って耳を傾ける内容とは？子どもの学習能力を引き出す英語の音声の聞かせ方や発話のサポート方法とは？その指導のあり方について、実際に具体的な活動を体験していただきながら、ワークショップ形式で一緒に考えたいと思えます。

### ④ 「授業中でのフォニックス活用術」 8月10日(土) 午前

講師：手島 良(武蔵高等学校中学校)

英単語の綴りを正しく読んだり書いたりするのが苦手な生徒がたくさんいます。そして多くの生徒は既習の知識である「ローマ字読み」でこの問題を解決しようとしています。フォニックスが解決の方法かもしれないと思いつつも、ふだんの授業でどのように活用してよいか困っている先生方のために、授業で使えるさまざまなtipsをご紹介します。生徒の発音も良くなります！

### ⑤ 「プレゼンソフトで合理的配慮の視点を取り入れた授業を作ろう」 8月10日(土) 午後

講師：草間 浩一(武蔵高等学校中学校)

公立学校では合理的配慮の提供が義務づけられています。東京都も条例で私学にも合理的配慮の提供を義務づけました。特別支援教育の考え方にに基づき、合理的配慮の視点を取り入れた授業作りが求められています。プレゼンソフトを活かし、できることから始める方法を具体例(講座ではKeynoteを用いますが、PowerPointでも応用できます)を交えながら考えていきます。

### ⑥ 「単語の意味の伝え方」 8月20日(火)

講師：砂谷 恒夫(元・東京都立高等学校)

単語の意味を示す方法には、①絵や写真、実物等の提示、②平易な英語による言い換え、③具体例の列挙、④日本語訳などの方法があります。英語で進める授業では①、②、③がよく使われます。しかし、意味は正しく伝わっているのでしょうか。教師が伝えたと思っている意味と、生徒が受け取った意味は同じでしょうか。生徒は理解できたのでしょうか。英語の単語の意味について具体的に考えてみましょう。

### ⑦ 「テストを変えたい先生方への最初の処方箋」 9月7日(土)

講師：根岸 雅史(東京外国語大学)

授業と密接に結びついた定期試験は、授業や学習の振り返りに資する必要がある。そのために、現状の定期試験にはいくつか改善すべき点がある。この講座では、その改善に向けての第一歩となるテストの構成について考察する。できれば、自校の定期試験を持ち寄っていただき、改善策を一緒に考えたい。

⑧ 「教科書を使った生徒のやる気を引き出す指導法」 9月15日(日)

講師：曾根 典夫(筑波大学附属高等学校)

「これができたら、お菓子、シール・・・」本当にこれで良いのか。生徒のモチベーションを高めるには何が必要か、学習効果を最大にする仕掛けは何があるのか。理論を踏まえながらその方法をお伝えします。

⑨ 「発音指導の心技体」 9月22日(日)

講師：静 哲人(大東文化大学)

効果的に発音指導を行うためには、World Englishes の時代においてなぜ発音が重要なのかについての確信[心]、授業中に他にスキルと絡めて指導する技術[技]、そしてそれを支える自らの発音力[体]が不可欠です。分節要素を支配するとも言われるプロソディも含めて発音指導の心技体を実習します。実習には一部、静哲人(2019)『発音の教科書--日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの作り方がいちばんよくわかる』を用いますので、ご持参ください。

⑩ 『これならできる!』ライティング指導とその評価』 12月1日(日)

講師：馬場 千秋(帝京科学大学)

「ライティング指導は難しい」という印象をお持ちの方は多いと思います。本講座では、「これならできる!」と受講者の方に思ってもらえるような、日常の授業の中で実際の検定教科書を用いたライティング指導や、投げ込み教材等を使ったライティング指導を紹介します。また、フィードバック方法と評価方法についても具体例を提示します。

⑪ 「指導手順を見直す」 2月9日(日)

講師：田島 久士(東京都大田区立糎谷中学校)

検定教科書を使って、オーラルワーク中心の授業で、1時間の授業をどのように組み立てていったらよいかを考えます。また、一単元の指導計画や教材研究についても触れたいと思います。

⑫ 「パフォーマンス課題と評価 ～その実践と留意点～」 3月8日(日)

講師：中山 健一(桐朋中学高等学校)

英語の言語知識を学び、これを活用するパフォーマンス課題の必要性が指摘されています。「書く」「話す」課題では学習者の発達段階や認知の状況をより考慮し、評価する際には「読む」「聞く」とは異なる点に留意せねばなりません。中高におけるパフォーマンス課題について考え、評価を体験していただき後の授業に生かすことを目指します。

教員志望学生対象 学生研修室セミナー

各回とも参加費は学生無料、学生以外1,000円

語研ホームページの「その他のイベント」からお申し込みください。 <http://www.irlt.or.jp/>

第1回 「教育実習に行く前に」

日時：5月11日(土) 14:00~16:00  
会場：麗澤大学 あすなる2505教室  
講師：望月 正道(麗澤大学)

第2回 「教育実習をふりかえろう!」

日時：6月29日(土) 15:00~17:00  
会場：(一財)語学教育研究所  
講師：望月 正道(麗澤大学)・鈴木 文也(桐朋中学・高等学校)

第3回 「青二才から青一才へ」

日時：2020年2月23日(日) 13:00~15:00  
会場：(一財)語学教育研究所  
講師：中尾 愛(東京農業大学第一高等学校中等部)

\*第1回：教育実習に学生を送り出す側からお話しします。  
\*第2回：教育実習後の学生を対象に、教育実習でうまくいったこと、うまくいかなかったことを共有して、これからは活かすセミナーです。  
\*第3回：初任から4年目の講師が日々の教育実践で頑張っていること、苦勞していることを参加者の学生のみなさんと共有します。